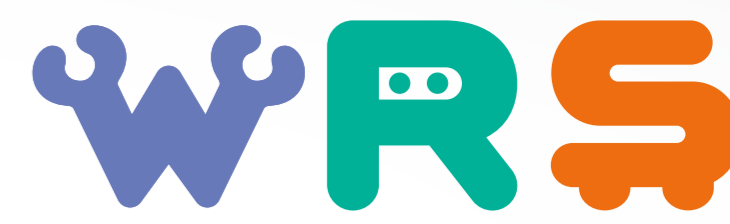




スクールロボットチャレンジ ホームロボットチャレンジ ジュニアカテゴリー



World Robot Summit

2018 TOKYO, JAPAN

October 17 - 21
Tokyo Big Sight

2020 AICHI / FUKUSHIMA

このカテゴリーは人間とロボットが共生し協働する未来に貢献できる若い世代を育成します。

Challenge outline

注：2020年の競技詳細については、現時点での想定であり、技術の進歩や2018年のプレ大会の実施結果等を踏まえて確定します。

スクールロボットチャレンジ

各チームがプラットフォームロボットを使って学校現場でロボットが活躍できるようなタスクをプログラミングによって達成します。

スキルチャレンジ

4つのスキルチャレンジがあります。

- ・人間と会話ができるようにします。
- ・人を認識し挨拶します。
- ・人間のパートナーにセンサーの一つに触れるよう指示します。人間のパートナーがそのセンサーにタッチできると、ロボットはそのタスクがうまくいったことを示す反応をします。同様のタスクを8つのセンサーでランダムに繰り返します。
- ・ロボットが30cm×30cmのさいころに書いてある数字を認識し、その数字を胸のタブレットに表示し読み上げます。

オープンデモンストレーション

オープンデモンストレーションは、チームがタスクの解決方法と実現方法を発表する機会です。チームは、予想外で挑戦的な課題に挑戦し、独創的・革新的な解決方法を見つけ出すことが求められます。

テクニカルインタビュー

すべてのチームが、競技の間に15分間のテクニカルインタビューを受けます。



ホームロボットチャレンジ

サービスロボットカテゴリーのパートナーロボットチャレンジのタスクと同様のタスクを設定し、そのようなタスクをこなすロボットを製作します。

ホームロボットチャレンジには2つのリーグがあります。

- ・ミニサイズリーグ
- ・実寸大リーグ

スキルチャレンジ2017

ミニサイズリーグ

- ・ロボットガイドテスト
- ・フォロウミーテスト
- ・ピックアンドプレイステスト

リアルサイズリーグ

- ・ロボットガイドテスト
- ・ヒアリングロボットテスト
- ・アシストサービスロボットテスト

オープンデモンストレーション

10分でロボットがどんなことができるかをデモンストレーションします。

テクニカルインタビュー

すべてのチームが、競技の間に、15分間のテクニカルインタビューを受けます。

主催



Official Website

<http://worldrobotsummit.org>

